

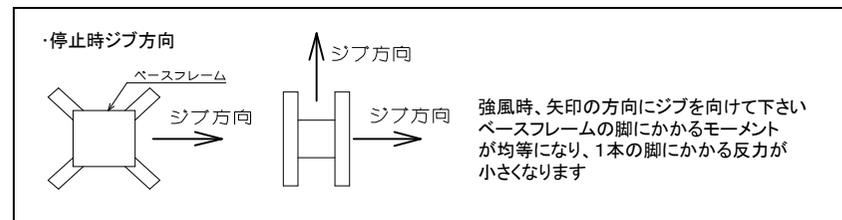
JCL008 強風対策一覧(最大自立高さ)

発効日: 2019年 5月15日版

- (1) 通常時
- 平均風速10m/sを超える風が吹いているときは、作業を中止してください
 - 作業終了時は、ジブ角度を『45度』にし、旋回ブレーキをかけてください
 - 瞬間風速30m/s以上の風が吹いた後はクレーン各部に異常が無い点検を行ってから作業を開始してください

- (2) 強風時
- 風速20m/s以上の強風が予想される場合は、強風対策が必要です
 - 下記のA~Fの対策のうち条件に合った対策を選択してください
 - いずれの対策も旋回ブレーキをかけ、ジブの方向を右図のようにしてください

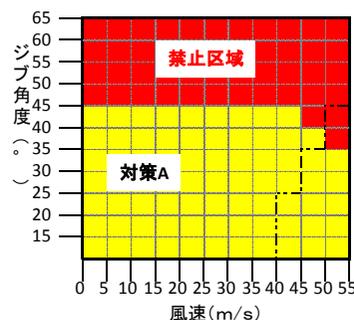
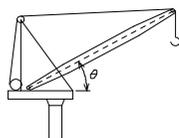
強風マトリクスの は旋回ブレーキがすべる境界線、 は弊社取扱煽り止めを表しています
また、受風高さは最大自立高さで検討しています



対策A (作業終了時姿勢)

巻上フックブロックを巻過防止リミット手前まで巻き上げる

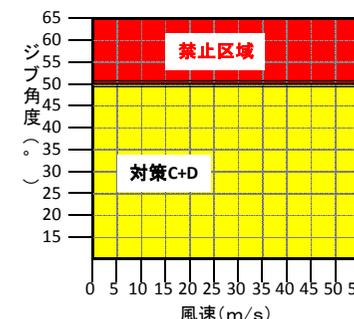
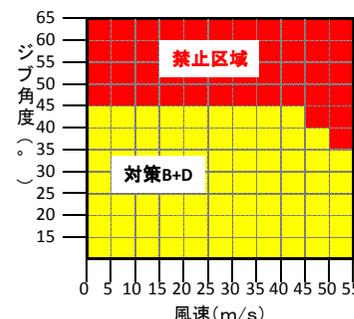
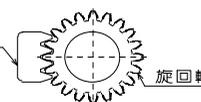
- (注)
- ジブ角度によっては風速40m/s以上で旋回します
 - フックが暴れてジブが損傷する可能性があります



対策D (旋回完全固定姿勢)

※旋回を許容できない場合はD対策を同時に行う 旋回輪

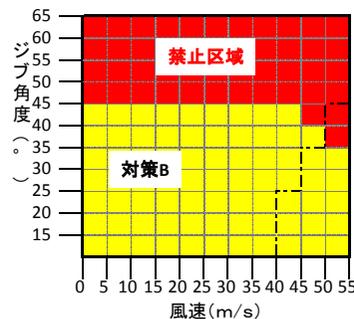
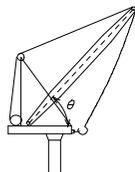
- 旋回固定装置を旋回輪と噛み合わせて固定する
- 本対策を行うには組立前に別途工事が必要です



対策B (フック暴れ防止姿勢)

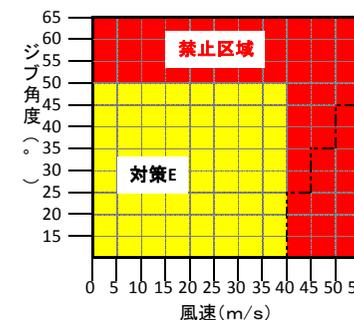
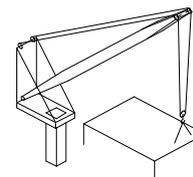
巻上フックブロックをクレーンに固定する

- (注)
- ジブ角度によっては風速40m/s以上で旋回します
 - フックが暴れないようにしてください
 - 本対策を行うには組立前に別途工事が必要です
 - 張力をかけるとジブが起き上がります (煽り止めではありません)



対策E (地球吊り姿勢)

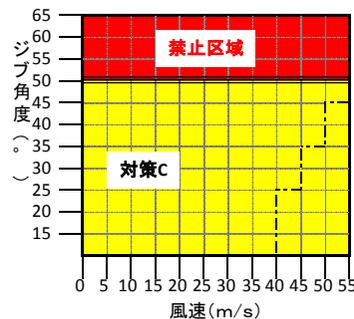
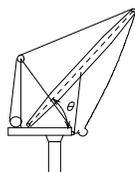
- 巻上フックブロックを強固な外部に固定する
- ジブ角度によっては風速40m/s以上で旋回します



対策C (ジブ煽り防止姿勢)

巻上フックブロックをクレーンに固定し、煽り止めをつける

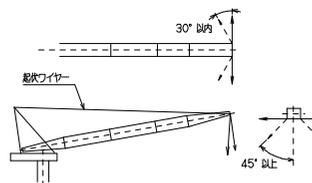
- (注)
- ジブ角度によっては風速40m/s以上で旋回します
 - フックが暴れないようにしてください
 - 本対策を行うには組立前に別途工事が必要です



対策F (ラッシング)

※旋回を許容できない場合に行う

ジブのラッシングを行う



禁止区域対策

- ジブを数箇所、強固な固定物に固縛する
- ジブをクレーンから降ろす